

利用者目線で
質の高い保育サービスを提供し、
保育に関連した事業を
次々と展開する美辺株式会社。
大手監査法人の会計士から転身し、
異業種となる保育事業を手掛ける
代表取締役の美辺香澄さん
お話を伺いました。

美^み辺^{なべ}株式会社

代表取締役 ▶ MINABE KASUMI

美^み辺^{なべ} 香澄さん



Company Data | 会社概要

美辺株式会社

[創業] 2016年
[所在地] 名古屋市中村区名駅2-41-3 サンエスケービル4階B
[TEL] 052-485-5008
[URL] <https://www.minabe-k.jp>
[事業内容] 一時保育所・月極の事業所内保育所の運営、
コンサルティング業務、保育物品の製品開発など



誰もが幸せな生き方を 自ら選択できる社会をつくる



一時お預かり専用託児所
はなにと



一時お預かり専用託児所「はなにと」は、「安心・安全・広い・美味しい・便利」という5つの特長を兼ね備えた、いつでも予約がとれる一時保育をメインで行なう託児所です。

利用者目線に立った 保育サービスが リピーターを生む

一時お預かり専用託児所「はなにと」の運営からスタートした当社は、今年で5年目を迎えました。一時お預かりとは、週5日、朝から夕方まで子どもを預かるような通常保育とは異なり、必要な時だけ子どもを預かるサービスです。例えば、食事会や美容院へ行く数時間だけの利用や、予定が組めない突発的な仕事、通院、通学などの幅広いシーンにおいて利用されています。また、名古屋駅から徒歩6分圏内の立地もあって、県外からの出張で子どもを預けてから仕事へ行く方への利用も少なくありません。一部口コミもあるようですが、インターネットでも検索されて利用される方がほとんどです。

そんな「はなにと」では、通常保育を行なう保育園と変わらないサービスを提供しています。一時保育であることを

理由に給食や離乳食を提供しない所が多い中、食物アレルギーのある子どもに対応した給食についても、園内で調理して提供する「はなにと」のような託児所は珍しいと思います。複数の食物アレルギーのあるお子様を持つ保護者の方が一度「はなにと」を利用されると、ほかの託児所を利用する気にならないようで、必ずリピーターになってもらっています。また、自身が働きながら複数の一時保育所を利用した時に苦労した経験を踏まえ、当日も予約受付を行なっているほか、必要な持ち物を無くして、手ぶらで来園していただけるようにしました。利用する保護者の目線に立って、妥協することなく、より良いサービスを提供できるのは同業他社にはない大きな強みとなっています。これらのサービスを提供できているのは、現場で働く保育士の皆さんがあつてのことです。そのため当社では、現場の保育士が働きやすく、ストレスのない職場づくりにも注力しています。



社名の由来 /

美辺株式会社

minabe

私の旧姓を社名にしています。起業のきっかけも、会社という形で旧姓の「美辺」を残すのが目的でした。会社を上場させて、「美辺」の付いたグループ会社を複数抱えるまでに事業規模を大きくすることができれば、全国でもごく少数しかない「美辺」姓を残せると考えたからです。

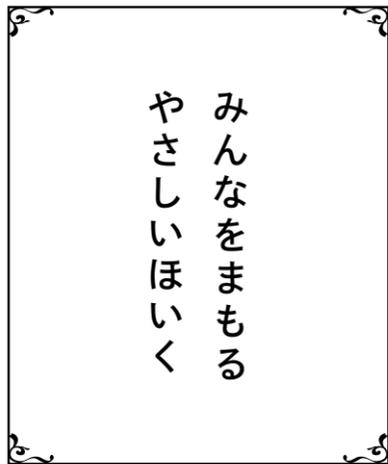
愛用のアイテム紹介 /

「はないと」オリジナルTシャツ



一時お預かり専用託児所「はないと」の開園時から園内服として使用しています。私を含めた保育士は水色を着用し、子ども用はサイズごとに色を変え、タグを確認しなくても整理・収納しやすくしています。

仕事で大切にしていることは /



保育は子どもと保護者だけでなく、保育を行なう保育士に対しても「やさしい」ことが重要です。誰もが幸せな生き方を自ら選択できるよう、「優しい」と「易しい」を兼ねた「やさしい保育」を通じて、子育ての現場から「やさしい」社会づくりに貢献したいと考えています。



みなもりゲート™

現場からの声をもとに、子どもの手が届かないところにロックを配置した、当社独自開発の安全柵。厳選した素材とシンプルな構造により、高い耐久性と安全性を実現しています。販売を見据えて現在、特許申請中です。



ビジネスプランコンテストW受賞

愛知県主催の「輝く女性ソーシャルビジネスプランコンテストあいち2018」にて、愛知県知事賞および碧海信用金庫賞を受賞。当社への信頼の獲得と認知度を高めるため、公的機関が主催するコンテストには積極的に応募しています。



園内調理の給食

子どものすべての食事について、専属の管理栄養士が献立を作成し、専属スタッフが園内で調理しています。献立内の卵や乳は完全不使用にするなど、食物アレルギー食にも対応。離乳食も各段階に合わせて取り揃えています。



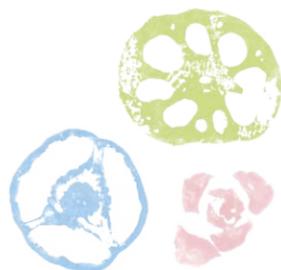
事業所内保育園 いちりん

「子と親の想いを尊重し、家庭・地域と連携した保育」を保育理念に掲げ、企業主導型保育事業として、愛知県日進市に開園。今年4月には、「はないと」の階下に2拠点目となる「いちりん なごや園」を開園しました。

製品開発に注力して 会社の収益を確保し、株式市場への上場を目指す

最近では各自治体も一時保育に力を入れ始めており、一時保育専用スペースも増えてきました。一時保育の分野ではトップを走ってきた自負があるので、今後は各自治体からの委託を受ける形で一時保育も行なっていきたいですね。目標は株式市場への上場です。保育事業は収益性が高いとは言えないので、上場している同業他社のように託児所をどんどん増やしていきたいとは考えていません。先にも挙げたように、保育士の業務を補うシステムが整備できない限りは、保育の質の低下につながるからです。まずは、保育の現場の声を吸い上げた製品開発に力を入れ、その販売益を確保することで上場を目指していきたいですね。

保育業務の システム化を進め 質の高い保育を実現する



保育士の快適な職場環境をつくるため、保育士とのコミュニケーションは欠かせません。現場で発生する問題のほとんどが、コミュニケーション不足によるものです。私は可能な限り現場へ出向いて直接コミュニケーションを図るようにしています。また、保育士と対等に話ができるよう保育士資格も取得しました。

現場の保育士たちと話す中で、「自分の子どもが小さいうちは一時保育を利用して週2〜3日の出勤はできたけど、子どもの成長とともにフルタイム出勤にしていくのを考えると月極保育があると助かる」といった声が、一定数あることを知りました。そのような考えの保育士が辞めてしまわないためにも、保育のバリエーションを増やす必要があると判断し、今年4月に「はないと」階下に月極保育としては2拠点目となる0歳児〜2歳児を預かる事業所内保育園「いちりん なごや園」を開園しました。全国的に保育士不足ですから、自身の勤務先と同じ事業所内にある保育園に子どもを預けてもらえる環境が整ったことで、潜在保育士の掘り起こしにもつながるかと考えています。

大手監査法人の会計士から転身して異業種の保育事業を始めてみて、保育士の仕事には肝心の保育業務以外に、

保育士の声を拾い上げ、より良い職場環境と質の高い保育につなげる

監査用の書類作成や雑務が多いことが分かりました。少しでも業務の効率化を図れたらと、Excelで必要項目を入力すれば請求書を出力できるシステムを組んでみたのですが、パソコン慣れしていない保育士の皆さんには当初は抵抗があったようです。このように、保育士がアナログでしか管理し切れない部分を補う業務システムを開発することができれば、保育士の業務がもっと楽になると思っています。また、本来もっと注力すべき業務へと時間が費やされ、より質の高い保育ができるのではないのでしょうか。業務フローを構築するのは私が得意とする部分ですから、今後さらに強化していきたいですね。

これまで一時保育、月極の事業所内保育、コンサルティング、製品開発など、保育に関わる事業を展開してきましたが、私は保育にこだわって起業したわけではありません。全国に数えるほどしかない旧姓の美辺を会社名として残すのが小学生の頃からの目標でしたので、社会人になってからも常にビジネスプランを考え続けてきました。可能性を感じるプランでも計画に無理があったり、法的な問題で実現が難しかったりして、そのほとんどが頓挫していく中、利用していた託児所を参考に改善を加えたプランだけは、実現可能な事業計画書に仕上げることができました。それを手に日本政策金融公庫へ相談し、アドバイスを受けて具体的な計画を盛り込んでいったところ、創業資金を借り入れることができ、現在の当社があります。